

事業所名：デイサービス TRY studio

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 7年 3月 27日(木) 12時 15分~12時 45分	
参加者	議題
利用者 0名	1. 2024年8月から2025年2月の利用実績報告 2. 人員体制 3. 感染予防、災害対策について 4. 事故・苦情などの報告 5. BCP策定状況の報告 6. 高齢者虐待対策に関する報告
利用者家族 0名	
地域住民の代表者 0名	
市職員 1名	
地域包括支援センター職員 1名	
事業所 1名	
会議録	
<p>1. 2024年8月から2025年2月の利用実績報告（添付資料参照） 午前はほぼ満員。午後も空きが少なくなっている。 男女比はほぼ半々というのが事業所の特徴となっている。 体験からの成約率が86%となっている。 下半期はサービス終了者が20名と少ない数字となっている。</p> <p>2. 人員体制および活動報告 ＜人員体制（登録数）＞ 介護職員増員し、対応中。 ＜活動報告＞ 日々の活動の流れについて写真を用いて説明を行った。</p> <p>3. 感染予防、災害対策について ＜感染予防対策＞ 利用者来所時における検温および手指消毒の実施、サービス利用中におけるマスクの着用、随時の換気による、新型コロナウイルスをはじめとした感染予防対策を実施。 ＜災害対策＞ 防災訓練の様子を写真を用いて説明した。発見から避難までの時間は約3分30秒であった。終了後の職員アンケートにて良い点だけでなく、悪い点・改善点などが出たため、次回開催に向けて改善していく予定。</p> <p>4. 事故・苦情などの報告 転倒などの事例があり、現象とそれに対する対策について報告した。</p>	

5. BCP策定状況の報告

研修参加、職員への伝達、BCP修正等を行い、今年度も同じ流れで進めてる。

6. 高齢者虐待対策に関する報告

現時点において当事業所で関連する報告はないが、今後も発生しないように研修等を通して、周知徹底を図っていく。

<質疑>

疑) 生活支援通所の利用者はどのような理由から利用されるのか？

回) 時間的な希望がある方、他のサービスに拒否的で2時間という「短い時間なら」という制約のある方、金銭的な理由の方が主な理由であった。

疑) サービス終了者の中で、やむを得ない理由ではない方はどのような理由か？

回) 明らかな体調不良等はこちらで確認できないものの、何かしらの理由で休みが続き、そのまま終了となるケースであった。こちらで把握できないこともあり、今後の課題と考えている。

疑) 避難訓練における職員アンケートからの不安とはいったいどのようなものか？

回) 実際に災害が発生した場合に訓練のように動けるのか？という不安。また落ち着いて動けるのか？

<今回の反省と今後の課題>

・参加者が少なかった。地域の住民にも広く知っていただく必要があり、事業所の運営を見ていただく機会を作る必要がある。その上で、地主様や自治会以外の団体（地域の社会福祉協議会など）にも広く声をかけていく必要を感じ、次回以降そのように積極的に声掛けをしていきたい。

次回開催予定：令和7年9月頃。

運 営 推 進 会 議 等 名 簿

事業所番号	2392300253
事業所名称	デイサービス TRY studio
担当・連絡先	中村翔・0561-56-0760

氏 名	構 成 区 分	職 名 等
高木大輔	瀬戸市役所高齢者福祉課	市職員
岩井真未	地域包括支援センター	ケアマネージャー
中村翔	デイサービス TRY studio	管理者

※1「構成区分」欄には、利用者及び利用者の家族、地域住民の代表者、当該事業について知見を有する者、市職員、地域包括支援センターの別を記入してください。

※2「職名等」には、町内会の役員、民生委員、老人クラブ、医師、学識経験者、福祉事業関係者等を記入してください。